

国語科学習指導案

平成 24 年 12 月 5 日(水) 6 校時 14:45 ～ 15:35
東京学芸大学附属竹早中学校 菊地 圭子

1 育成を目指す能力（国語科として身につけたい力）

(1) 生徒の学習状況から

- 文章に表れた兼好法師のものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連づけて感想を持つことができる。

(2) 評価規準（国立教育政策研究所『参考資料』より）

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。	<ul style="list-style-type: none">文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもっている。 <p style="text-align: center;">((1)エ)</p>	<ul style="list-style-type: none">古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。 <p style="text-align: center;">(伝統的な言語文化に関する事項 ア(イ))</p>

2 単元名 「四 時の中で ～時の中で語られた言葉が持った『力』を想像し、言葉の新たな魅力を発見しよう～」

学習材名 「人の世と人の心のスケッチ―徒然草― 吉田兼好」 （「中学校国語1 学校図書」）
・『徒然草』の現代語訳や関連する本（*参考文献 参照）

3 単元設定の理由と学習材観について

「言語活動の充実」とともに教育内容に関する主な改善事項の一つに挙げられた「伝統や文化に関する教育の充実」を受け、学習指導要領（平成20年3月）では、内容の構成に〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕が新設された。これにより、古典をはじめとする伝統的な文章や作品に触れることの意義が明らかにされた。

そして、中学校学習指導要領解説国語編では、「小学校の学習を踏まえ、中学校ではより一層古典に親しませるとともに、我が国に長く伝わる言語文化について関心を広げたり深めたりすることを重視して指導する。」とある。

『徒然草』は、『つれづれなるままに』という冒頭部分が有名な古典の随筆である。内容は、仏教的なものから、教訓・処世術のようなもの、人間の心理・行動について書かれたものなど、内容豊かである。そこに現代とは大きく異なるものもある。「古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること」（2年 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」ア(イ))によって、読み手としての立場から人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つことができる教材である。そして、筆者の兼好法師に共感したり反発したりすることを通して、より古典を身近なものとして味わい、古典の世界に親しむことができる作品であると考えた。

本単元の目標である「時の中で語られた言葉が持った『力』を想像し、言葉の新たな魅力を発見」するためには、まずは古文の内容を正しく読み取ることが必要である。今回学習する『徒然草』の各段が、事実とそれに基づいた筆者の考えという二つの部分から成り立っていることに気づかせ、そこに述べられている筆者の感想はどのような事実から導き出されているのかを読み取らせたい。そうすることによって表面的な文章だけではなく、筆者のものの見方や考え方が理解できると思われる。

また、本教材『徒然草』序段、第109段『高名の木登り』第89段『猫また』、第235段を学習した後、発展的なテキストとして第11段・45段・52段、53段・56段・68段・92段・117段（補助的に35段）236段・243段（全10章）を新たに生徒に学習させたい。テキストは作者である兼好法師の考えが端的に書かれていることと、具体例が分かりやすく書かれている。このことで、自分の生活経験などと重ね合わせて、読み深めることも可能である。

そして古典の文章の内容を大まかに理解するという視点では、個人読み、ペア読み、グループ読み、一斉読みなど音読の活動を多くし、さまざまな段から兼好法師の考えを著している段を読み取り、自分ももっとも気に入った章段について、内容を要約して決められた時間で発表するという学習活動を設定した。

そこで、より書き手の思考に迫り、自分の考えを深めることができるようにしたい。さらにその活動を通して、現代とも共通するものの見方や考え方に気づくことで、古典への親しみを感じさせたい。

4 生徒の実態（2年C組:男子20名・女子20名／40名）

生徒は、古典の作品として、1年時に、『竹取物語』『宇治拾遺物語』を学習しており、暗唱などに意欲的に取り組んだ。また、百人一首や七夕伝説など、古典の世界に表れている昔の人々の願いや思いを読み取ったりする学習を通して、時代を超えて人々に愛されている古典に親しもうとする態度も見られる。

古文の特徴である歴史的仮名遣いについては定着しており、音読、暗唱にもよく取り組み、意欲的な生徒が多い。ただ課題は、古典を苦手としている生徒への意欲喚起である。話し合い活動や発表活動についても、まじめに熱心に行う。

この学年は、160名、附属竹早小学校からの進学者が70名、附属大泉小学校からの進学者が17名、一般受験により72名入学、転入生が1名、という生徒で構成されている。

5 単元・学習材における評価規準

（1）具体的評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
① 古典に示された内容やものの見方について関心を持ち、感想を交流しようとしている。	② 文章に表れた兼好法師のものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連づけて感想を持っている。 ((1)エ)	③ 人間性などに対する兼好法師のものの見方や考え方を想像している。 (伝統的な言語文化に関する事項 ア(イ))

（2）中心となる言語活動

- ・ 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。
(伝統的な言語文化に関する事項 ア(イ))

言語活動例

- ・ 古典の随筆を読み、内容について自分の考えを述べる。(関連:言語活動例イ)

【『中学校学習指導要領』（平成20年3月）第2章 各教科 第1節 国語 第1 各学年の目標及び内容 【第2学年】 2内容より】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第2学年「読むこと」の指導事項「エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつこと。」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「(1)ア(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。」を指導する。

文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつために、文章に、必要な部分に印を付したり、必要な部分を抜き出したり、読み取ったりする方法を指導する。また、一つの作品のさまざまな章段を読むこと、同じ随筆の他の作者の作品を読むこと、同じ作者の違う作品を読むことなど、多様な読みがあることも確認する。

「伝統的な言語文化に関する事項」の指導においては、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像させるために、小学校で古典に触れてきた経験を想起させ、また、一年生で学習したことをふまえて、古典には様々な作品があることについて具体的に理解できるよう指導する。

6 能力育成のプロセス(4時間扱い 本時は3時間目)

次	時	評価規準 (①から③は、5(1)の評価規準の番号)	A : Aの状況を実現していると判断する際のキーワードや具体的な姿 C : Bの状況を実現するための手だて
1	1	① 古典に示された内容やものの見方について関心を持ち、感想を交流しようとしている。	A・ 『徒然草』『兼好法師』について興味を持って理解している。 C・ 『徒然草』『兼好法師』について理解するように声をかける。
2	2	② 文章に表れた兼好法師のものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連づけて感想を持っている。 ③ 人間性などに対する兼好法師のものの見方や考え方を想像している。	A・ 文章に表れた兼好法師のものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連づけて感想を持つようとしている。 C・ 兼好法師のものの見方や考え方について、グループ学習をしながらワークシートに記入するように声をかける。 A・ 人間性などに対する兼好法師のものの見方や考え方を想像しようとしている。 C・ グループ学習をしながら班の意見として出されたものを、ワークシートに記入するように声をかける。
3	3	① 古典に示された内容やものの見方について関心を持ち、感想を交流しようとしている。 ② 文章に表れた兼好法師のものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連づけて感想を持っている。	A・ 古典に興味を持ち、進んで話し合い活動に参加し、自分の意見を伝え相手の発言を聞き取ろうとしている。 C・ 班の意見として出されたものを、ワークシートに記入するように声をかける。 A・ 古典の現代語訳を場面の展開や登場人物、兼好法師のいいたいことを描写に注意して読み比べ、内容の違いを読み取っている。 C・ 机間指導において、場面の展開や登場人物の言動など読み取る視点を指摘する。
4	4	③ 人間性などに対する兼好法師のものの見方や考え方を想像している。 ② 文章に表れた兼好法師のものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連づけて感想を持っている。	A・ 兼好法師のものの見方や考え方について、その内容を紹介しようとしている。 C・ 班で協力して発表できるように声をかける。 A・ 他のグループの紹介を聞いて、考えをまとめる。 C・ 他のグループの紹介を聞いて、自分の感想をワークシートに書くように声をかける。

主たる学習活動・ <u>中心となる言語活動</u> （下線）	留意事項	時
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「暗唱マラソン」の「徒然草」に着目して暗唱する。 ○ ここでの学習のねらいや進め方をつかむ。 ○ 『徒然草』『兼好法師』とは何か理解する。 ○ 導入文を読み『人の世と人の心のスケッチ』『兼好思索ノート』としての『徒然草』を読み進めていくことを確認する。 ○ 『高名の木登り』を音読し、構成をとらえる。 ○ 『高名の木登り』が語る兼好法師の『心の不思議さ』とはどのようなことか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れについてのガイダンス。 ○ 原文は、つかえずに読めるようになるまで、何度かくり返し音読させる。 	1
<ul style="list-style-type: none"> ○ 『猫また』を音読し、構成をとらえる。 ○ 兼好法師のものの見方がうかがえる場所を読み取る。 ○ 兼好法師にとっての『心のとらわれ』についてトオマス＝マンの警句も参照にしつつまとめる。 ○ 序段「つれづれなるままに」を音読し、内容をとらえる。 ○ <u>兼好法師の人間性など、筆者のものの見方や考え方を想像する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原文は、つかえずに読めるようになるまで、何度かくり返し音読させる。 ○ 本文の中から作者のものの見方が描かれていることを現代語訳から正しく理解させる。 	2
<ul style="list-style-type: none"> ○ 兼好法師のものの見方や考え方、人間性に関する『徒然草』の章段（現代語訳）を読む。 ○ 『徒然草』章段（現代語訳）、関連する本などを読み、自分の気に入った章段について選ぶ。 ○ <u>章段（現代語訳）を、登場人物や話の展開、兼好法師のいたいことを中心に読み比べ、ワークシートにまとめる。</u> ○ 同じ話を選んだグループを作り、より深め合い学び合う読みの交流を行う。 ○ 違う話を選んだグループを作り、互いに選んだ章段の読みを紹介する。 ○ 話し合い活動から、各自のワークシートを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館にある関連する本や資料などを紹介し、他の章段についての興味・関心を促すようにする。 ○ 『徒然草』を読み比べることを通して、古典について自分なりの考えを持てるようにする。 	3
<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて考えた内容について口頭で紹介する。 ○ <u>『徒然草』に描かれた兼好法師のものの見方や考え方について紹介する。</u> ○ 他の人の紹介を聞いて、考えをまとめる。 ○ 次のことをワークシートに書く。 （ア）『徒然草』から読み取った兼好法師のものの見方考え方。 （イ）『徒然草』を読んだあとの現在の自分の考え。 ○ 自分の考えをまとめる。 （ア）学習内容を振り返る。 （イ）今回の学習で、古典についてわかったこと、関心を持ったことを文章に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラス全員が、紹介を分担するようにする。 ○ 複数の本や資料から引用するようにする。 ○ これからの古典の学習への期待も書かせるようにする。 	4

7 指導上の工夫

- 『中学校学習指導要領』（平成20年3月）における「読むこと」の指導を通して指導するとともに、その系統性も意識していくことも一つのポイントである。今回の指導では小学校の「読むこと」・中学1・3年の「読むこと」の指導も踏まえ、学習の連続性を保証したい。

第2章 各教科 第1節 国語 第1 各学年の目標及び内容 2 内容

[C 読むこと]

(小学校 第1学年及び第2学年)

オ 文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

(小学校 第3学年及び第4学年)

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくこと。

(小学校 第5学年及び第6学年)

オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

(中学校 第1学年)

オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。

(中学校 第2学年)

エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもっている。

(中学校 第3学年)

エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つこと。

8. 本 時(3時間目)

本時のめあて(つきたい力):『徒然草』のさまざまな章段を読み、自分の気に入った作品を紹介するという目的に応じて自分の知識や経験と関連づけて感想を持つことができる。

本時の展開

流れ	指導上の留意点(指示・発問)	学 習 活 動	評価と支援
定 着	○ 暗唱マラソン	○ 全員で暗唱マラソンの課題に取り組む。 <u>斉読・グループ読み</u> ○ 「暗唱マラソン」の「徒然草」に着目して暗唱する。	・ 姿勢と発声に気をつける。 ・ 自信がない場合はカード参照も可。
導 入 意欲付け	○ 学習の流れについてのガイダンス。	○ ここでの学習の流れについて確認する。	・ 本時の学習内容の概要を説明する。
展 開	○ 学校図書館にある関連する本や資料などを紹介し、他の章についての興味・関心を促すようにする。 ○ 本文を拡大して示したり、必要に応じて図解したりすることを促す。 ○ 話し合い活動が円滑に進むよう机間指導をし、必要に応じて助言をする。 ○ ワークシートの記述が進まない生徒には個別に指導・助言をする。	○ 兼好法師のものの見方や考え方、人間性に関する『徒然草』の章段(現代語訳)を読む。 ○ 『徒然草』章段(現代語訳)、関連する本などを読み、自分の気に入った章段について選ぶ。 ○ <u>章段(現代語訳)を、登場人物や話の展開、兼好法師のいいたいことを中心に読み比べ、ワークシートにまとめる。</u> ○ 同じ話を選んだグループを作り、より深め合い学び合う読みの交流を行う。 ○ 違う話を選んだグループを作り、互いに選んだ章段の読みを紹介する。 ○ 話し合い活動から、各自のワークシートを完成させる。	○ 『徒然草』を読み比べることを通して、古典について自分なりの考えを持てるようにする。 A・ 古典に興味を持ち、進んで話し合い活動に参加し、自分の意見を伝え相手の発言を聞き取ろうとしている。 C・ 班の意見として出されたものを、ワークシートに記入するように声をかける。 <u>ワークシートへの記入</u>
まとめ	○ 本時の学習を振り返る。 ○ 自己評価をする。		・ 本時の活動をしっかりふりかえらせる。

【参考文献】

テキスト

『新訂 徒然草』西尾 実 安良岡康作 校注 岩波文庫 岩波書店 1992年11月 第90版発行
『徒然草』 今泉忠義 訳註 角川ソフィア文庫 角川書店 2011年3月発行改訂98版発行

書籍

『中学校新教育課程 国語科の指導計画作成と授業づくり』明治図書 高木展郎・三浦修一 編著

指導案

広島県大竹市立大竹中学校 国語科学習指導案 奥江和子教諭 古典を楽しもう『徒然草』平成22年
埼玉県立総合教育センター 平成20年度 調査研究『読解力を育成する教科指導』実践事例③事例1
第2学年1組 国語科学習指導案 古典に親しむ 『仁和寺にある法師—『徒然草』から—』
評価規準の作成、評価方法など工夫改善のための参考資料(中学校 国語) 平成23年7月
国立教育政策研究所 教育課程研究センター

(*参考文献 参照)

- A : 古典サークル 徒然草 佐々木八郎 監修 川上四郎 著 文研出版 1979.3. 1発行
B : 使える『徒然草』 斎藤孝 P H P 新書 2005.3. 30発行
C : 21世紀版 少年少女古典文学館第十巻 徒然草・方丈記 嵐山光三郎・三木卓 講談社 2009.12. 17発行
D : ビギナーズ・クラシック日本の古典 徒然草 吉田兼好 角川書店編 角川ソフィア文庫 2002.1. 15発行
E : 日本の古典を読む⑭ 方丈記・徒然草・歎異抄 神田秀夫・安曇安明・安良岡康作 小学館 2007.10.30発行
F : 超訳日本の古典⑥ 徒然草・方丈記 監修 加藤康子 学研 2008.2.17発行
G : 絵で読む日本の古典3 枕草子・徒然草 監修 田近洵一 ポプラ社 2012.3発行
H : わかる、伝わる、古典のこころ①物語・随筆・説話・伝統芸能を楽しむ 16のアイデア 監修・工藤直子 高木まさき 編集 青山由紀 小瀬村良美 岸田薫 光村教育図書 2009.1. 13発行
I : 初めてで会う古典作品集①土佐日記・枕草子・更級日記・方丈記・徒然草・おくのほそ道 監修 河添房江 高木まさき 光村教育図書 2009.12. 22発行
J : 新潮古典文学アルバム12 方丈記・徒然草 稲田利徳 山崎正和 新潮社 1990.7.10発行
K : 図説 『無常』の世を生きぬく古典の知恵! 方丈記と徒然草 三木紀人 青春出版社 2011.11. 15発行
L : 国語資料総覧 吉野教育図書
M : 『精選 古典』古文編 木村博 鈴木日出男 高田祐彦 堀川貴司 三上英司 筑摩書房 2012.1.20発行
N : 菊地圭子セレクション
O : くもんのまんが古典文学館『徒然草』 平田喜信 くもん出版 1991.6.18発行